

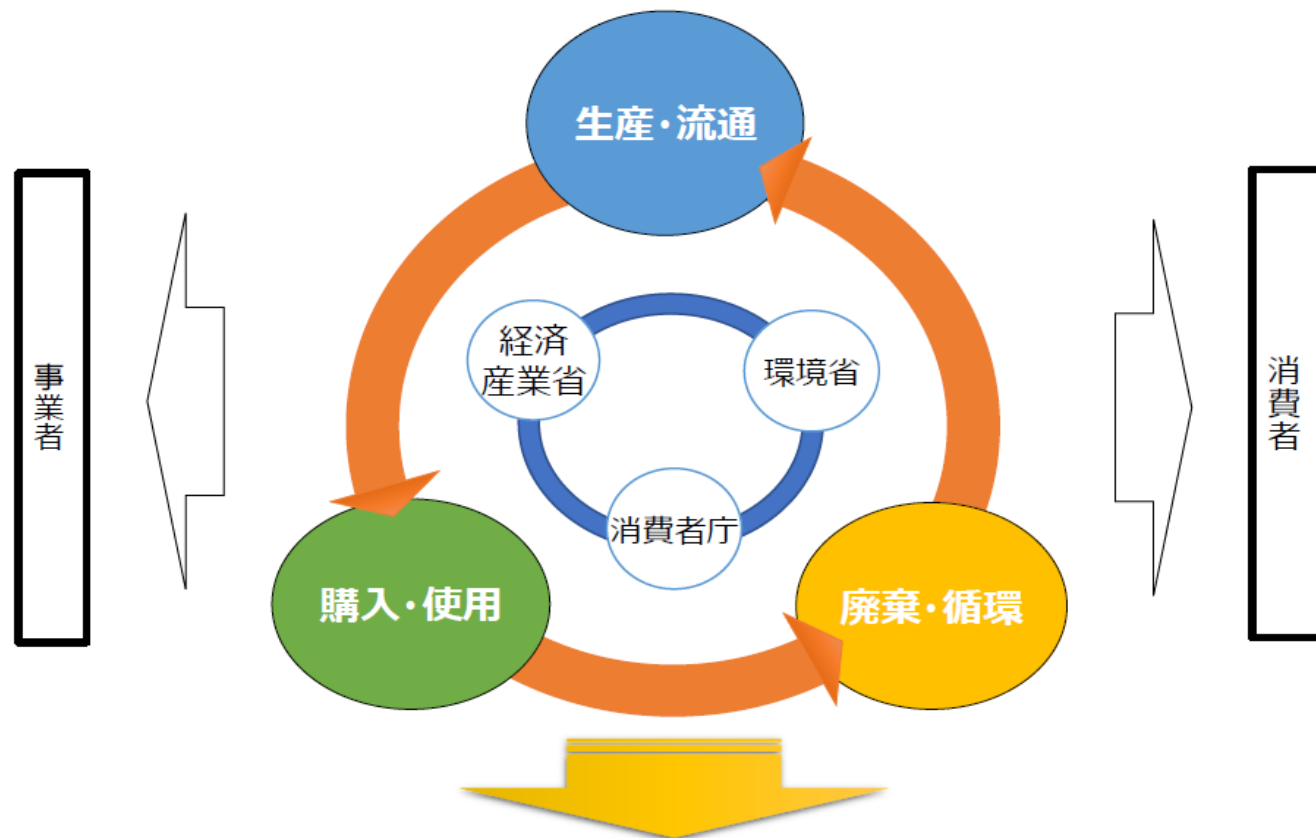
エシカル消費の視点から 消費者ができること

令和3年12月9日

サステナブルファッション元年？

3省庁連携の下での推進

消費者庁、経済産業省、環境省の3省庁が連携し、生産・流通から廃棄・循環までの各段階に応じて、事業者及び消費者の双方に向けた取組を計画的に進めるとともに、制度面を含めた課題の整理・検討を行っていく。



事業者の取組の推進（環境配慮設計の推進・透明性の向上等）、消費者の行動変容等の実現
ファッションロスの削減

サステナブルファッションとは

衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取組のこと

#SUSTAINABLEFASHION

1年間1回も着られていない服が
一人あたり25枚もあります。



循環型ファッションの推進には
家庭にしまい込まれている
服の活用が課題です。



#SUSTAINABLEFASHION

家庭から手放される衣服の量は年間約75万トン、
うち約50万トンがごみとして廃棄されています。



ごみに出された衣服が
再資源化される割合はたった5%ほど。
服を資源として再活用することが求められています。



#SUSTAINABLEFASHION

家庭から手放される衣服のうち、
リユース・リサイクルされる割合は約34%
残りはごみとして処分されます。



もし残りの全ての衣服が回収され、
リサイクルを経て原材料に再供給された場合、
最大で年間約2,500万トンのCO₂排出量が削減できます。
これは東京都における年間のCO₂排出量の
約4割に相当します。



#SUSTAINABLEFASHION

国内に供給される衣服の製造で
必要な水の量は年間で約83億m³、
うち約9割は綿の栽培によるものです。



もし全ての綿をオーガニックコットンにできれば
年間約67億m³の水消費が削減されます。
これは東京都で年間利用される水の
4倍以上の量です。

① 2017年度繊維・皮革・繊維製品製造業の環境報告書より算出。
② 国土交通省「繊維産業の環境対策」より算出。



#SUSTAINABLEFASHION

私たちの4人に1人は
「安く買い、流行のシーズンが終わったら処分する
サイクルを見直したい」と感じています。



もし衣服の供給量を25%減らすことができれば
約20万トン分の服を作らずに済みます。
これは東京タワー約50棟分の重さに相当します。



出典：環境省HPから抜粋

なぜ今サステナブルファッションか？

アパレル・ファッション業界の環境負荷面等への注目高
～世界レベルで取組が加速～

消費者の間での関心の芽
～特に若年世代、コロナ禍を契機に関心の高まり～

「エシカル消費」の持ちうる意味の再認識
～少子高齢化、GDP伸び悩みの中での質の高い消費～

日本の強みの再認識、世界に向けたメッセージの可能性
～「三方よし」「もったいない」「優れた技術」等～

なぜ徳島か？

エシカル消費先進地

- ・ 全国初のエシカル条例制定
- ・ エシカル消費自主宣言の取組
- ・ エシカル消費の認知度 50.8%
- ・ とくしまエシカル消費推進会議設置
- ・ エシカル甲子園の開催

上勝町への期待

- ・ ゼロ・ウェイスト宣言
- ・ ごみの13種類45分別

エシカル消費とは

エシカル消費とは、地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動のこと。

主な具体例

今だけ



未来・長期

みんなの未来を
考えること

- ・エコ商品
- ・リサイクル商品
- ・食品ロス削減さくげん
- ・ESG 投資
- ・サステナブルファッション

ここだけ



地域・世界

自分の周りの
地域や世界を
考えること

- ・フェアトレード商品
- ・寄付付きの商品
- ・地産地消・伝統品
- ・被災地産品ひさいちさんびん
- ・オーガニック商品

自分だけ



みんなに
優しい社会

様々な立場の
人々が社会の
一員として参加・
活躍できる社会かつやく

- ・ユニバーサルデザイン
- ・ダイバーシティしょう
(障がい者支援等)しゃしえんとう
- ・生物多様性

エシカル消費を実践できる場面

商品・サービスを選択するとき

- ・ 誰がどこで作ったのか、お店までどのように運ばれてきたのか、地球環境に優しいか、人の暮らしを守って作られているかなどを調べて選ぶ



買物をするとき

- ・ 必要な人が他にもいることを想像する
- ・ 必要な分だけを買う



買ったものを使う・処分するとき

- ・ 一度使用した後もシェアやリサイクルなどをする
- ・ 大切に長く使う



サステナブルファッション推進の取組

消費者庁の取組

① 「サステナブルファッション」に向けた消費者行動18のヒントの公表



「サステナブルファッション」に向けた消費者行動18のヒント～服を買うときから始まるサステナブルファッション習慣のすすめ～

<https://www.ethical.caa.go.jp/sustainable/index.html>

② 「サステナブルファッション・サポーター」制度の創設

③ アパレルファッション業界における消費者志向自主宣言の促進

④ サステナブルファッション地域実証事業の実施

⑤ 「わたしのサステナブルファッション宣言」リレー

●ハッシュタグ「#サステナブルファッション宣言」

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/efforts/#relay



サステナブルファッション
習慣のすすめ

18のヒント

サステナブルファッション・
サポーター

皆さまの取組や工夫の紹介

「サステナブルファッション」に向けた消費者行動18のヒント ～服を買う時から始まるサステナブルファッション習慣のすすめ～



買う時、選ぶ時
のヒント



日々のお手入れ
や洗濯時などの
ヒント



処分する時のヒ
ント



その他

サステナブルファッション特設ページ



買う時、選ぶ時のヒント



ヒント1 本当にその服が**必要**かどうか、もう一度よく考えてみる



ヒント5 **カスタムメイド**での購入を考えてみる



ヒント2 **長く着る**ことができるものを買う



ヒント6 バザーやフリーマーケットなどで**古着**を買う



ヒント3 **処分**するときのことも考えてみる



ヒント7 **レンタル**サービスを利用する



ヒント4 買うと決めたら服の**ストーリー**にこだわる



ヒント8 メーカー**売れ残り**在庫販売での購入も考えてみる



日々のお手入れや洗濯時などのヒント



ヒント9 大事に使い**長持ち**させる



ヒント11 お直しや**リペア**で長く着られるようにする



ヒント10 **マイクロ・プラスチック**を流出させない



ヒント12 家族や友人同士で**着まわす**



処分する時のヒント



ヒント13 買取店、**バザー・フリーマーケット**を活用する



ヒント16 **リメイク**を楽しむ



ヒント14 お店などでの古着の**回収サービス**を利用する



ヒント17 どうしても使い道がない場合には**資源回収**に出す



ヒント15 **寄付**する



その他のヒント



**ヒント18 自宅のクローゼットやワードローブを確認して、
不用な服は定期的に処分・有効活用する**

**18のヒントに関わる事業者の取組の掲載を準備中
第1弾40社程度、順次増やしていく予定**

「わたしのサステナブルファッション宣言」リレー

趣旨

サステナブルファッションに関心を持ち、実践する人の輪を広げる！

リレー

SNSへの井上前消費者問題担当大臣の動画投稿で既にスタート。

サステナブルファッション・サポーターにリレー。

ハッシュタグ「[#サステナブルファッション宣言](#)」を付けて投稿。

動画等で、「今後、〇〇をしていきます！」「〇〇を実践した」等宣言。

指名された方のみならず、飛び入り「自主宣言」也大歓迎。

消費者だけでなく事業者等広く輪が広がることを期待。

新未来創造戦略本部での取組

2021年

7/12

サステナブルファッションシンポジウム

ファッションから考えるサステナブルな未来 を開催

プログラム

- 開会挨拶
- 鎌田安里紗氏 基調講演 「サステナブルファッションとは？-服と自然と社会のつながり-」
- パネルディスカッション 「サステナブルファッションと消費者の選択」
- 学生を交えたディスカッション 「ロスから考えるサステナブルファッション」
- 閉会挨拶

基調講演 講師
エシカルファッションプランナー
鎌田 安里紗 氏



＜基調講演＞ エシカルファッション、サステナブルファッションについての事業や行政、関係機関への働きかけ等に積極的に取り組まれている鎌田安里紗氏から、ファッションを取り巻く現状や、ご自身の取組についてご説明いただいた。

＜パネルディスカッション＞ タオル生産会社のIKEUCHI ORGANIC（株）の池内氏に生産の立場から、上勝町ゼロ・ウェイストセンターの大塚氏に廃棄の立場から、環境省及び消費者庁から行政の取組を紹介し合うとともに、消費者の役割について、議論を行った。



＜学生を交えたディスカッション＞ 四国大学の学生を対象にした衣服の消費に関する調査の結果を交えて、四国大学生2名、鎌田氏、大塚氏、加渡教授5名がサステナブルファッションに対する消費者の意識、行動のあり方等について意見交換を行った。



■主催：消費者庁新未来創造戦略本部・環境省中国四国地方環境事務所四国事務所

四国大学

■後援：ローカルSDGs四国

■協力：四国環境パートナーシップオフィス、四国地方ESD活動支援センター



サステナブルファッション推進に向けて

消費者ができること

エシカル消費 の第一歩

社会的課題に気付き、日々の買物を通して、
その課題解決のために自分で何ができるのか考えてみる

エシカル消費 の実践

商品が届くまでの背景や廃棄された後の影響を考え、
課題解決につながるモノやサービスを選び、使い、処分

18のヒントの実践・私のサステナブルファッション宣言の実践

楽しみながら、
できることから



「サステナブルファッション習慣」を
日本から世界に

